

## 「出題の意図」

選抜区分	令和元年度（選抜区分：AO入試） 地域創生学群 地域創生学類 (科目名：1次試験：模擬授業・レポート／2次試験：集団討論・個別面接)
出題の意図 (評価のポイント)	<b>1. 出題の背景・求める能力</b> <b>【出題の背景】</b> 地域創生学群では、地域の再生と創造を担う人材育成を目指し、実践と理論の両立を図りながら、地域社会における課題解決に必要なスキルや知識の習得を促している。今回の1次選考では、そのための一つの視点として、地域や地域住民の潜在能力を引き出し活用していくエンパワメントの概念に着目し、エンパワメントが促進される環境について、地域創生学群との学びに関連づけて模擬授業を行なった。 また2次選考の集団討論では、「まち」をテーマに取り上げた。「地域」のとらえ方が様々であるように、「まち」に対する概念理解・認識も多様である。そこで、少人数グループで「まち」のもつ性質について考えてもらった。 <b>【求める能力】</b> AO入試では、地域創生学群の取り組みへの共感度が高く、地域社会の諸課題への強い関心を持ち、主体的に解決したいと考えている学生を求めている。1次選考のレポートでは、模擬授業の内容であったエンパワメントの基本的概念に対する理解度とともに、被災地支援においてエンパワメント視点をどのように活用できるのか、その応用力を見極めることとした。 2次選考の集団討論では、求められている課題を的確に理解し、それに応じて自分の考えを的確に表現できているか、またコミュニケーション能力の程度、課題に対する主体的関わりを試した。さらに個別面接では、地域創生学群を志望する動機とともに、地域課題に主体的に関わっていく上での素地を確認した。 <b>2. 解説(解法)</b> 1次選考のレポート作成のポイントは以下の2点で、それぞれの内容が簡潔にまとめられている答案を高く評価した。また、レポート全体の流れやバランスが良い答案については更に高い評価とした。 1点目は、エンパワメントの基本概念（エンパワメントの定義、パワーの概念、「強み」への着目）について理解できているか。 2点目は、エンパワメントを促進する環境の要素について理解し、それを被災地でのボランティア活動における環境整備に応用できるか。